

# 災害医療 全国規模で

## AMDAや 民間ネットワーク拡大へ

東京でフォーラム

アジア医師連絡協議会（AMDA、本部岡山市楯津）と日本医師会、全日本病院協会は二十九日、東京都内で「民間医療防災フォーラム」を開催し、自治体との合同防災訓練や、救護物資備蓄など大災害に対応するための災害医療システムづくりを全国規模で展開する方針を決めた。

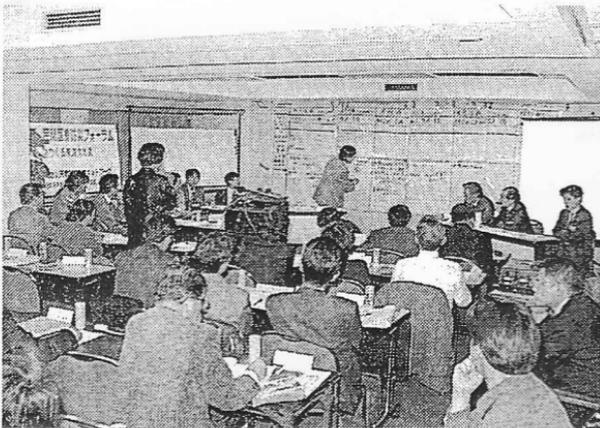
組織をはじめ、厚生省や自衛隊、静岡県や東京都などの自治体も含めて約百人が参加。テレビ電話で岡山市のAMDA本部とも結び、岡山県の防災担当者らともやり取りした。

また、河田恵昭・京都大防災研究所巨大災害センター長が「迫る東海・南海大地震」と題して講演。地震研究の最前線を話し、東海地震と南海地震が同時に起きる可能性などを指摘。「想定するような形で災害は起きない。東海地震の対応に集中するだけでは不十分」などと指摘した。

フォーラムには、医療関係団体やヘリコプター連航の航空会社、情報通信会社など災害時に関係する民間

の航空会社、情報通信会社など災害時に関係する民間

の航空会社、情報通信会社など災害時に関係する民間



民間からの全国規模の災害医療システムづくりを決めた「民間医療防災フォーラム」=東京都内

